

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ3	出席委員数	4名
日時	平成22年 8月26日(木) 19時15分～21時50分		
場所	第2会議室		
<p>【協議事項】 (テーマ等)</p> <p>○ボランティアについて</p> <p>○その他</p> <p>—主要意見—</p> <p>第1グループとの合同審議会 (19:15～20:30)</p> <p>○ボランティアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校開放した場合の子どもの見守りについて、「自分の子どもは自分で」という考えはボランティアにならないと思う。みんなで見守ることがよいのでは。</li> <li>・ 無償ボランティアこそボランティアだと思う。(老人での登下校の見守隊はお金をもらっていない)</li> <li>・ 現在ボランティアというと教育委員会が担当と思われる。行政が窓口でなく、個人が窓口となり行政はそのバックでという形がよい。</li> <li>・ 何かやらされているというボランティアでなく、無理しないで自分がやれるだけやるという趣旨でやりたい。</li> <li>・ 北方に相応しい、こじんまりしたものを始めたい。</li> <li>・ 「心の糧」の発表前の待ち時間に音楽を、また入り口などには花を飾ってもらうとかを、ボランティアにお願いしてはどうか。</li> <li>・ 北方に来てよかったという催しにしたい。来町された方には何かを得て帰っていただきたい。</li> <li>・ きらりの入り口に花を飾るとあたたかみがあり、良い考えだと思う。ボランティアの方たちの紹介も添えることで、ボランティア同士の交流に繋がっていくかも。</li> <li>・ 町民にボランティアに関する情報を伝えること、共感することが大切。</li> <li>・ 「心の糧」が町民ボランティアの中心的(要)な行事になると良い。</li> </ul> <p>3グループでの審議会 (20:30～21:50)</p> <p>○生涯学習センターのボランティアについて、現状と問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町民の人が広報など見ていない。広く町民に知られていないように思われる。</li> <li>・ 社協のボランティアとの交流があってもよいと思う。</li> <li>・ ボランティア団体の育成も必要。</li> <li>・ 気軽に参加できる、やってみたいと自然にできるものを。</li> <li>・ 町民からの要望が上がってきていないのでわからないので、まず要望を</li> </ul>			

知ることから。

- ・ 情報発信の方法を。
- ・ 「心の糧」の行事の時に社協のボランティア代表者に問いかけてみてはどうか。
- ・ 見えるボランティア・見えないボランティアがある。まず見えるボランティアから始めて、できる人からでもやっていく方法で。
- ・ 協力してもらえる人が集まるきっかけをつくるのが大切。
- ・ 町の広報でボランティア団体の紹介コーナーを！
- ・ 町おこしに繋がるボランティアができればと思う。
- ・ 参加型のボランティアができるとよい。
- ・ ボランティアを行なうには、目標・目的が必要で、達成感がないといけない。

次回協議事項（9月29日（水）午後7時15分から）予備日9月30日

○ボランティアについて

○住民の声の届け方と窓口の充実について

住民が気軽に要望や意見が出せる掲示板について

○その他

※発言順にこだわらず対応する意見については、まとめて下さい。

発言者名は未記入をお願いします。